雨乞い祈祷の絵馬など～飯綱神社の文化財～

猛暑の季節がやって来ました。その合間をぬって台風もやって来ます。毎年ひきおこされる大雨による被害、その一方で雨不足による水不足、取水制限やプールを使えないなどの報道に接します。酷暑の中、つらい生活を強いられている地域があることは、今更ながら自然のきびしさを思い知らされます。

雨が降らなければ、飲料水に困ることはもちろん、農作物への打撃も大きなものとなります。そのようなときにかつて行われたのが「雨乞い」です。文化伝承館がある萱田（かやだ）には、雨乞いにまつわる話がいくつかあります。

東葉高速鉄道「八千代中央駅」の南側、階段を降りたところに弁天宮（べんてんぐう）と水神宮（すいじんぐう）が並んでいます。ともに水に関わる神です。ここは新川の低地から南西にのびる「寺谷津（てらやつ）」の谷奥に当たり、かつては湧(わ)き水があったと思われます。

水神宮には昭和54年(1979)造立の「水神宮の由来」という石碑があり、それによると水神宮は安政６年(1859)の建立で、萱田村の名主（なぬし）長岡平左衛門が、村民とともに一心に雨乞いしたところ雨が降って豊作となり、碑を建てた所からはきれいな水が湧き出て田を潤（うるお）したなどとなっています。


新萱田の水神宮

同じ水神宮の伝説によると、江戸時代の萱田村で、日照りに悩んでいた名主の夢に白髭（しろひげ）の老人が現れ、10日間の願掛けを助言されました。その通りにすると満願の日に雨が降り、そのときに白い竜が天高く昇って行くのが見えました。老人は竜神の化身だったのです。皆は感謝し水神宮として祀（まつ）ったとのことです。この話は、「雨乞いと水神」という題名で伝承館の紙芝居になっています。

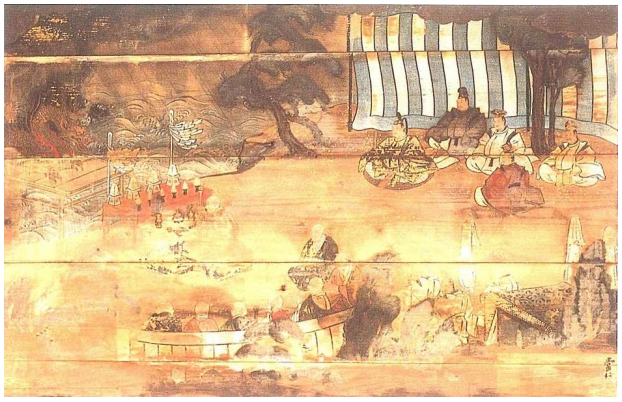


紙芝居「雨乞いと水神」

飯綱神社の鐘楼（しょうろう）には、もともと竜の彫り物があり、雨乞いのときにはこれを池に浮かべたと伝わります。しかし現在は竜の彫り物は盗難にあって失われ、池も無くなりました。

因（ちな）みに、神社と伝承館のある台地（通称「権現山(ごんげんやま)」）の南側は、やはり新川から南西にのびる「須久茂谷津（すくもやつ）」の谷口に当たり、一角に宝暦（ほうれき）10年(1760)の「石造弁天像（せきぞうべんてんぞう）」が祀られています。

最後に、飯綱神社に所蔵されている市指定文化財「雨乞い祈祷の絵馬」をご紹介します。縦112.5cm、横167cmの大きな絵馬です。池のほとりに現れた竜に向かって祈祷（きとう）する僧侶（そうりょ）と、それを見守る僧侶達や公家（くげ）風の人物達が、色彩豊かに描かれています。これは『今昔物語(こんじゃくものがたり)』にある「弘法大師（こうぼうだいし）、請雨経（しょううきょう）の法を修（しゅう）して雨を降らせたる語（ものがたり）」を題材として、その内容を忠実に再現しています。絵馬の作成時期は、江戸時代後期と推定されます。自然の恵みとしての雨への願いがこめられた絵馬です。この複製品が八千代市立郷土博物館と千葉県立中央博物館に常設展示されています。


雨乞い祈祷の絵馬

八千代市文化伝承館だより

令和７年乙巳 旧暦閏六月

継
Ｋｅ ｉ

2025．8．15 No. 27
編集
発行 八千代市文化伝承館

〒276-0043 八千代市萱田 460-3
電 話 047-484-9011(郷土博物館)
ＦＡＸ 047-482-9041(郷土博物館)
メール kyoudo@city.yachiyo.chiba.jp

令和6年度事業報告

令和６年度、文化伝承館では主催事業として昨年度に引続き「重陽の節供におくる邦楽演奏会」、「紙芝居と昔話の会」、「八千代の民俗文化再発見」、「子ども邦楽教室」、「茶道教室」を実施しました。八千代市三曲協会、本だいすき!の会、八千代市茶道連盟の皆様のご協力のおかげです。加えて、昂寿朗会の皆様のご協力により、「子ども日舞入門」を実施しました。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様にも深く感謝申し上げます。

令和6年度の利用状況

開館日数 260日
主催講座 35回695名 伝統文化団体の利用 356回3,312名 その他の団体の利用 128回 2,065名 見学・遊具利用など 1,315名 計7,387名
紙芝居などの館外貸出 16件

刊行物 ８月１０日(土) 「継」26号の刊行

令和6年度の文化伝承館の主なできごと

４月17日(水) 「紙芝居と昔話の会」第１回を実施。以下、５月15日、６月19日、９月18日、10月16日、１月15日、２月19日、３月５日（いずれも水曜日）に実施。(全８回)
５月16日(木)バンコク子ども親善大使、茶道体験
７月20日(土) 「子ども邦楽教室」第１回を実施。以下、７月27日、８月３日・17日、９月７日・21日、10月５日、11月９日・10日、12月７日、１月11日、２月15日、３月１日・２日（11月10日と３月２日は日曜日、他は土曜日）に実施（全14回）
７月27日(土) 「子ども日舞入門」第１回を実施。以下、７月28日(日)、８月２日(金)・３日(土)・４日(日)（全５回）
10月13日(日) 「重陽の節供におくる邦楽演奏会」実施。
２月９日(日)「茶道教室」第１回を実施。以下、２月16日、３月９日・16日・23日・30日（いずれも日曜日）に実施。（全６回）
３月22日(土)「八千代の民俗文化再発見～村上の神楽」を実施。

施設・物品の修繕

ホール・事務室のエアコン、男子トイレ小便器センサー


子ども日舞入門


子ども邦楽教室


茶道教室